

非核・いしかわ

非核の政府を求める石川の会 会報

「二〇一五年に国連に要請団を送る

石川の会」結成総会が開催

安井正和原水協事務局長が記念講演



被爆国における核廃絶運動の重要性を強調された
安井正和氏

三月二十九日(土) 一三時三〇分より石川県教育会館(金沢市)において標記総会が開かれた。参加者は四〇名であった。

ドキュメンタリー映画「不毛の地」

講演に先立って上映されたドキュメンタリー映画「不毛の地」を見た。ロシア・ウラル地方山麓のチェリヤビンスク村の田園風景がのんびりと映し出されたかと思っていたら、それに続くナレーションと映像は実に衝撃的だった。この村にある「マヤ

事務局
〒920-0848
金沢市京町 28-8
石川民医連労働組合気付
Tel 076-251-0014
郵便振替
00760-0-15689

非核 5 項目

- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める。
- ② 国是とされる非核三原則を厳守する。
- ③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する。
- ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する。
- ⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する。

「核施設コンピナート」は、原発や原子力潜水艦の使用済み核燃料の再処理工場で、ソ連時代も含めて六〇余年にわたって近くのテチャ川に大量の放射性廃棄物を垂れ流し続けている。核貯蔵タンクの爆発事故、度重なる洪水もあって流域の汚染は桁外れで、住民の生活と健康被害は目を覆いたいほどの惨状であった。「原発と核産業に依存する社会が生み出す悪魔的現実」(パンフレットより)は、福島原発の汚染水問題と青森六ヶ所村とが重って見えた。こんな事実が隠されていたのか・・・、われわれの運動の中でこそ上映運動が求められていると感じた。

二〇一五年NPTの焦点―被爆国の運動の役割

続いて安井正和日本原水協事務局長による「二〇一五年NPTの焦点 被爆国の運動の役割」と題する講演があった。

全世界で一七、三〇〇発の核兵器が人類の生存を脅かし続けている現実があり、二〇一〇年の前回交渉で核兵器禁止条約のテーブルに着くことを義務づけ、その後の実行を迫るフォローアップ交渉の中で、徐々にではあるが核兵器にしがみつく勢力を追い込みつつある。そして二〇一五年再検討会議では、



先日、ある会社での団体交渉で、業務の外注化が議論となった。▼会社経営は厳しく、コスト削減のために社員がやっている仕事を外注化するのも、社員の労働条件を守るために必要―というのが、会社側の主張。▼組合側は、コスト削減になるのは今の社員よりも低い条件で働かせるからであり、外部の劣悪な労働によって内部の社員の待遇を守るという発想はおかしい―と主張した。▼よくある議論だが、なかなか哲学的なテーマでもある。▼高校生の時に『オメラスから歩み去る人々』という小説を読んだ。▼オメラスという楽園のような街がある。しかし人々の幸せは、塔に幽閉された一人の子どもが、全ての不幸を背負い込むことによって成り立っている。子どもは独りで放置され、食物もまともに与えられない。人々は、それを知らながら何もしない。しかし一部の人たちは、街から歩み去っていく。どこに行くべきかを知っているかのように。▼われわれは、内外での搾取によって作られた製品とサービスに囲まれて暮らしている。日々の生活のあり方も、改めて考えてみると悩ましい。(山)

「核兵器による平和と安全」ではなく、「核兵器のない世界による平和と安全へ」と国際政治が大きく舵を切ろうとしている変化の兆しが見えてきた。

昨年、ジュネーブでの軍縮会議の中でハイレベル会合が提起され、シリアの化学兵器使用に関する非人道兵器に反対する世論もあって、日本政府の見解も変わりつつあり核廃絶に向けた合意が作られつつある。もちろん米英仏三か国の妨害や揺れ戻しもあるが、何よりの保障として、日本の草の根からの世論IIアピール署名の積み上げが大きな力であり、残す一年間で達成することが求められていると訴えられた。

運動論としては、安倍政権の「集団的自衛権」問題での憲法解釈変更、秘密保護法制定、原発事故等に対する厳しい反対世論と併せて大きな国民的共同に広げていく可能性がある。各地でオリジナル署名や大衆的な集会など工夫して取り組まれている署名と代表団派遣の運動に学んで頑張ろうと呼び掛けられた。

続いて、映画上映と講演を踏まえて国連に代表団を送る会の結成総会が持たれた。前回並みの一〇名の要請団の派遣、五〇、〇〇〇筆（現在一六、七〇〇筆）の署名の積み上げ、ミニ学習会など一年間の諸活動の積み重ね等が提起された。六・九行動を地道に続けよう、日頃署名用紙を持って歩いて人が集まる場所を書いてもらおう、市民運動との連携の持ち方など工夫をしてと意見交換もされた。

（池田治夫・非核石川の会常任世話人）

三月二日金沢会場、二三日加賀会場

ドキュメンタリー映画「標的の村」上映会

伊佐真次さんのお話

「高江から私が伝えたいこと」



沖縄・高江の「ヘリパッド
いらぬ住民の会」共
同代表の伊佐真次さん

——沖縄の東村・高江に米軍のヘリパッド建設工事に
阻止の活動を七年間も続けてこられた伊佐さんの
闘いを支えてきたものは何でしょうか。

（伊佐）あきらめないことが一番ですね。勝利は私たちのものといつも思っています。スラップ裁判（注）は厳しい展開になっていますが、絶対に勝つという希望を持って闘っています。

沖縄は戦後からずっと米軍基地問題が続いてい
ます。米軍に土地接収されたとき私たちの先輩たち
が座り込みしたように、次の世代の子どもたちには
米軍基地のない平和な土地を残そうと、戦争につな
がるすべてのものを拒否しています。

——石川県には一九五四年に内灘砂丘に米軍の砲
弾試験場がつけられたが、大きな住民運動により一
九五七年には米軍を撤収させた内灘闘争の歴史が
あります。われわれヤマトンチュウは何をなすべき
でしょうか。

（伊佐）今日「標的の村」上映会に参加いただいた
ように、まず沖縄の実状を知ってほしい、そして知
ったからには何か行動を起こすこと、現地にきて座
り込みに参加するなど、ぜひ沖縄に力を貸してい
ただきたい。地元でできることとして、「戦争をしな
い」という日本国憲法を守る人を地方議員に選ん
でほしい。全国が変われば沖縄も変わる。首長を変
えていくことや米軍基地と安保条約の関係について
もつとよく考えていただきたい。

——「沖縄には日本国憲法がない」とよく云われて
いるが、伊佐さんにとって日本国憲法とはどのよう
な存在でしょうか？

（伊佐）私たちが行っているのは表現活動です。憲
法に定めがある「表現の自由」や「集会の自由」の
行使です。陸・海・空のすべての軍隊を持たない
という憲法九条が拠りどころになっています。

——伊佐さんから私たちに伝えたいことは。

（伊佐）まず高江の実状を知ってほしい。高江に建
設されようとしているヘリパッドとオスプレイと
の関係について映画「標的の村」や「高江の記録」
DVD上映会を数多く開き、広げてほしい。沖縄本
島北部の東村・高江は世界自然遺産に推薦される
らしい自然豊かなところだが、米軍基地があるため
それが叶わない。ヤンバルクイナ、ノグチゲラなど
貴重な鳥類も数多く生息している。米軍は人殺しの
訓練をこのやんばるの森で行っている。僕らは「ヘ
リパッドいらぬ住民の会」をつくり活動してい
るが、米軍基地をなくす運動でもある。このことを知
っていたら、米軍基地をなくす運動について内
灘闘争を経験した歴史のある石川県のみなさんは

きつとわかってもらえるとと思う。

——「標的の村」を観て沖繩の現実を知らなかったことを痛感した。知らなかったことは罪なのかと感じました。

(伊佐) このことは皆さんが悪いのではない。沖繩では毎日のように米軍関係の記事は新聞やテレビで報道されるが、県内にとどまっている。大きな新聞、テレビがキチンと伝えていないことが問題である。今はネット社会であるから検索してもらえば情報入手ができる。私たちの情報交換のアンテナを張ることが大切である。

(注) スラップ裁判：権力を持つ国や自治体、大企業が反対の声をあげた個人を訴えることをアメリカではスラップ裁判といって、多くの州で禁止している。日本政府は二〇〇八年十一月に沖繩・高江のヘリパッド建設阻止のため無抵抗で座り込んだ住民十五人を「通行妨害」にあたりと告訴し、伊佐真次さんは福岡地裁、同高裁で有罪判決となり、現在最高裁に上告している。

非核石川の会第二六回総会記念・開催案内

非核・平和・沖繩のつよつよ

「やんばるの森 東村・高江のたたかい」

ヘリパッドいらない住民の会 清水曉氏

・日時 六月一日(日) 午後一時半～

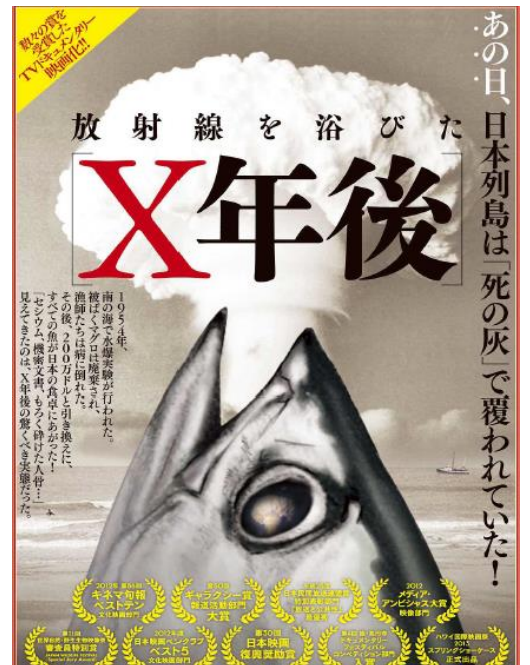
・会場 石川民医連会館三階会議室

・参加費 五〇〇円

・主催 非核の政府を求める石川の会

*県内の協賛団体との共催になります。詳しくは案内チラシをご覧ください。

あの日、日本列島は「死の灰」で覆われていた！



第五回 Nuclear Abolition Day 開催に寄せて

ビキニ被災から六〇年 核被害の実相を知り、語り継ぐ

小野栄子

地球上のすべての命を守り、こどもたちに豊かな地球を引き継ぐために、核兵器禁止条約の制定に向けて行動する日＝Nuclear Abolition Day (核兵器廃絶国際行動デー)は、二〇一〇年六月、ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)が行うグローバルキャンペーンの一環で始まりました。石川県では、核戦争を防止する石川医師の会がこの動きに賛同し、二〇一〇年から毎年開催しています。

第五回目となる今回は、今から六〇年前に起きたビキニ水爆実験の被災をテーマに取り上げます。

一九五四年三月一日、第五福竜丸は太平洋ビキニ環礁近くでマグロ漁をしていました。午前六時四五分、「太陽が西から上ってきた」。そう錯覚するほどの強烈な光と轟音、その後降りかかってきた正体不

明の白い粉。それは広島型原爆の千倍もの爆発威力をもつアメリカの水素爆弾「ブラボー」の爆発でできた死の灰でした。

米国はその年の五月までに、「キヤッスル作戦」と称して、ビキニ環礁とエニウェトク環礁で「ブラボー」を含む合計六回の水爆実験を行いました。そして、その被害を受けた延べ一、〇〇〇隻もの船に放射能が検出され、乗船した多くの船員が放射線障害と思われる病気で亡くなっています。しかし、第五福竜丸以外の被ばくももう一つのビキニ事件は、人々の記憶や歴史からもなぜか消し去られていきました。

今回、第一部で上映する映画「X年以後を浴びた」は、南海放送(愛媛県松山市)が約八年にわたる取材を通してもう一つのビキニ事件の真実に迫った衝撃のドキュメンタリーです。第二部では、東京都立第五福竜丸展示館学芸員の市田真理さんに、「核実験場となったマーシャル諸島の人々はいま」と題して、第五福竜丸以外の被災について日米の資料をもとにお話しいたします。

第五福竜丸元乗組員の大石又七さんは、次のように語っています。「なぜ六〇年も経って皆さんの前でお話ししなければならぬのか。それは、内容が現代につながっているからです。私たちは一人ずつ死んでいく。被害を受けたものはその真実をきちっとお話ししなければまるで犬死ですからね。悔しくなりません」(朝日新聞デジタル、二〇一四年二月二五日)

東電福島原発事故発生の際とも言える日本の原子力開発はビキニ事件から始まった点、被害発生

の理不尽さ、情報の隠蔽、責任放棄、被害の過小評価と賠償・保障問題、差別と偏見、分断と分裂を生む構図、続く苦しみと怒り。ビキニ事件は、まるで福島原発事故を写す鏡のようなものです。

今回の企画を通して、改めて、ビキニ事件の真相と核被害の実相を知り、東電福島原発事故を経験した私たちは今何をすべきかを皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。たくさんのご参加をお待ちしています。

(核戦争を防止する石川医師の会事務局)

第五回 Nuclear Abolition Day

核兵器廃絶国際行動デー

とき：六月一日(日) 一三時半～一六時半

ところ：石川県女性センター・ホール

第一部：ドキュメンタリー映画

「〜放射線を浴びた〜X年後」上映会

第二部：講演会「第五福竜丸は航海中」

講師：市田真理さん(都立第五福竜丸展示館学芸員)

チケット：大人一〇〇〇円、高校生以下、無料

(剰余金の一部は当会が行っている『はだしのゲン』寄贈運動の資金として活用させていただきます)

主催：核戦争を防止する石川医師の会

後援：平和サークルむぎわらぼうし・非核の政府を求める石川の会・石川県生活協同組合連合会・コープいしかわ・石川県保険医協会

非核平和の海外情勢

三月二七日、非核の政府を求める会常任世話人会が開催され藤田俊彦常任世話人から海外情勢の報告が次のようにありました。

ウクライナ問題と核兵器について

ニューヨーク・レビュー・オブ・ブックス紙に掲載されたジュレミー・バーンスタインの「ウクライナと核兵器」という論文が紹介された。

「ウクライナはソ連が崩壊した一九九一年にアメリカ、ロシアに次いで世界三位の大量の核兵器を保有していた国であった。

チェルノブイリ原発の大惨事の国でもあり、現在でも一五基の発電用原発を稼働させている。国の電力の半分を核エネルギーに依存しており、核燃料の大半をロシアが提供している。

冷戦の終了時、ウクライナは一九〇〇発の戦略核弾頭を保有していた。クリミア半島のクラスノカメンカには、ソ連の最も重要な核兵器施設があり、核弾頭の組み立てや貯蔵が行われていた。

一九九〇年ウクライナ議会は、核兵器を自国から排除する非核政策を採択した。しかし、一九九二年

にクチマ大統領は、核ミサイルの一部を貯蔵し続けるべきであると提案したが、一九九四年ウクライナ議会は、再度ウクライナを核のない国にすることを決議した。そして同時に、ウクライナは『ブダペスト・メモランダム』(ブダペスト合意)に調印した。

このブダペスト合意は、ロシア、ウクライナ、アメリカおよびイギリスによって調印されたもので、

『核兵器を放棄する代わりに、ウクライナの主権と国境を尊重する、軍事的な挑発を行わない、経済的な制裁を行わない』とするものである。ただ、これは『assurances (約束)』と表現されており、『guarantees (保証)』ではなかった。もし、『保証』であったなら、国連は行動を起こすことを余儀なくされ、ロシアを厳しい立場に追いやっただろう。

もし、クチマが望んだように、ウクライナが核兵器を保有し続けたとしたら、今回の事態はどうなっていたのか興味がある所である。」と述べている。

米国の対ロ制裁措置の効果

アメリカのジェームズ・リンゼイ外交問題評議会 上席副会長がインターネット上で発表した「米国の対ロ制裁措置の効果の行方」という論文が紹介された。

「ロシアによるクリミアの敵対的奪取を処罰する処置として、アメリカは制裁措置を課した。しかし、その対象者であるロシアの要人の一人であるロゴジン副首相は、『オバマ大統領がいたずら者に制裁措置を作らせたに違いない』と嘲笑した。

このアメリカによる制裁措置は、オバマ大統領が四つの決定的な重要課題をマスターするかどうにかかっている。

①『欧州全体を参画させる』かどうかである。フランスはロシアに武器輸出を行っており、イギリスは、ロシアの新興財閥にサービスの提供を行っている。また、新興国である中国、ブラジル、インドは、国境尊重論の熱烈な擁護者であったにもかかわらず、クリミア紛争ではだんまりを決め込んでいる。

② 『対抗圧力を屈折させる』かどうかである。制裁措置は標的国が反撃できない時にもっとも効果をあげるが、ロシアはイランの核計画を阻止する活動を邪魔することができ、アフガニスタンやパキスタンを支援することができる。

③ 『紛争エスカレートを引き金を引かない』ことである。アメリカは、ロシア企業もしくは個人と米国あるいは他の国の金融ルートを閉ざすという選択もとれる。しかし、そうなった場合、米国と最も親密な同盟国（ドイツなど）すらも疎遠にしてしまうだろう。もし、そういうことになれば、ロシアはウクライナ東部におけるロシアの行動を活発化させるかもしれない。

④ 『制裁実施に時間をかける』ことである。ロシアのように、一定の財政的余裕のある国は、しばらくの間、経済的強要を凌ぐことができる。ロシアが痛みを感じるのは、数年とは言わないまでも数ヶ月を要するであろう。

オバマ大統領は、この四つの課題をマスターすることは難しいが、制裁措置はロシアに対して、相応な成果をあげることになるであろう。制裁措置は、欧州諸国にロシアへの依存度を減らし、他の地域への投資を増やすことになるであろう。どちらにしても、ロシアにとって良いニュースではない。時がたつにつれて、ロゴジンおよび彼のボス、プーチンは『いたずら者』の本物の痛みを感じさせることができることに気づくかもしれない。」

（原和人非核の政府を求める会常任世話人の報告から 文責・編集部）

非核石川の会 リレーエッセイ

「沖縄基地視察ツアー」の体験記

永山孝一

石川県平和委員会の平和の旅ミニ企画『沖縄ツアー』に参加した一行八名は、四月七日早朝小松空港を出発、羽田経由で那覇空港に到着後、レンタカーで南部戦跡へ向かった。糸数アブチラガマ↓平和祈念公園↓首里城跡を見学し、国際通りの「民謡酒場」にて夕食。八日は普天間・嘉手納基地を見て昼食↓辺野古↓東村・高江（映画『標的の村』の当該地）を訪問↓名護市庁舎（一九八一年完成の名建築）を経由して名護浦のホテルに到着。九日は「美ら海水族館」を観覧、那覇市に戻り「瀬永亀次郎館」に寄り帰路につきました。以下要点を記します。

一行は、平和委員会・山野健治さん運転のワンボックスカーで沖縄本島を南北に駆け巡りました。まず、糸数アブチラガマ⇨糸数集落にある全長二七〇mの自然洞窟⇨沖縄戦で住民の避難場所、陣地として利用され、後に南風原（はえばる）陸軍病院の分室として使用されました。米軍の攻撃などにより死者が出ましたが、このガマのおかげで生き延びた人たちがいることも忘れてならない事実です（入壕券の説明）⇨を訪れ、暗闇のガマで懐中電灯を手にボランティアガイドの女性から説明を戴きました。

平和祈念公園から、琉球王国繁栄の証を訪ねる⇨首里城公園を経て、翌日は「サンゴが育つジュゴンの海を壊すな！」と辺野古新基地建設を阻止する闘いの現地を訪問、具志堅トオル名護市議の報告があり、基地が果たす平和への否定的な役割について認識を深めました。

さらに沖縄本島北部やんばるの東村・高江へ



東村・高江 座り込みテントを訪問



名護市庁舎見学 素敵な庁舎と好評

パッドいらぬ住民の会」テントを訪問、お話を聞きました。同会発行のvoice of TAKAEに「インディアンやネイティブアメリカンと呼ばれるアメリカ先住民は、何かを決めるとき、七代先のことを考えて決める」といいます。「私たちの行動や選択の一つひとつが未来の暮らしをかたち作っています」と述べています。

ホテルに向かう途上で、名護市庁舎（一九七五年建築学会賞を受賞・一九八一年完成）を見学した後、沖縄が誇る名勝である名護浦に建つホテル・喜瀬ビーチパレスに到着。

最終日は、沖縄海洋博が開催され、人気を博している「美ら海水族館」を観覧の後、高速道路で那覇の「不屈館・瀬永亀次郎と民衆資料」＝沖縄の祖国復帰と平和な社会の実現を目指して命がけで戦った、瀬永亀次郎（元・衆議院議員）が残した膨大な資料を中心に、沖縄の民衆の闘いを後世に伝えよう



テラスからエメラルド色の名護の浦



不屈館の瀬永亀次郎と遺品のデスク

と、二〇一三年三月設立された資料館を見学・学習しました。

強行軍でしたが、ワンボックスに同乗し車内の会話も弾んで、学び多い時間を体験できました。

詩人会議かなざわ「独標」より

うみとそら

安田 桂子

陽に向けて
洗い立てのシーツを
パーンと干す
朗らかなひかりが
アキレス腱まで届く

ガリリツ

挽ぎたてのまだ若いリンゴを
丸齧りする

涼しい硬さが垂直に

喉元を落ちていく

道端でふかい海の色の露草を

五本摘み

透明なガラス瓶に挿す

今はただ

同じ色の空に焦れて

直ぐにも飛び立つ気配

（一日で萎んでしまうのだけれど）

するう

私の内側で

しあわせ

と

ふしあわせ

の

かたくなな輪郭が

不意に解ける

水平線で出逢う

うみ

と

そら

の ように

ひとつの線だけを

静かに

置いて

平和川柳研究会より

選 岩原茂明

安部・石破去ればアジアに春が来る
 選挙去り何も変わらぬ赤字県
 百億は誰が払う新幹線
 ウランでも恨みきれない福一は
 短くてとても長い三年は

徹乗
 明子
 明子
 雅靖
 雅靖

軸

野蛮国ロシアにやっぱりあてはまり

どこからか美しい声が聞こえた

泉二丁目午後六時過ぎ

きつとあればあなたです

絢子

NO NUKES

子どもの
未来のために



ちひろ美術館

《非核平和・行事予定》

- ・四月二日(火)一八時半…学習会「金沢市の水道料金は下げられる」講師森尾よしあき金沢市議会議員・近江町交流プラザ四階・主催金沢市革新懇
- ・四月二八日(月)…講話条約発効六一年
- ・五月三日(土)一四時～一六時半…輝け！九条石川県民集会・記念講演「安倍改憲政権の正体」斉藤貴男ジャーナリスト・文化行事「平和への願い」ひびけ憲法の心」終了後堅町商店街までパレード・金沢市・本多の森ホール・主催九条の会石川ネット
- ・五月六日(火)一七時…核兵器廃絶署名・金沢駅東口
- ・五月六日(火)一九時…秘密保護法撤廃デモ・石川県中央公園集合
- ・五月九日(金)二時…核兵器廃絶署名・Mザ前
- ・五月一五日(木)…沖縄施政権返還四一周年
- ・五月一六日(金)一三時半…原水爆禁止国民平和大行進石川県実行委員会
- ・五月一八日(日)一〇時…NPO法人はだしのゲンをひろめる会第二回総会・金沢市近江町交流プラザ四階
- ・五月二六日(月)一四時…辰巳ダム裁判判決・金沢地裁
- ・六月一日(日)一三時半…非核の政府を求める石川の会総会記念・非核平和沖縄のつどい「やんばるの森東村・高江のたたかい」ヘリバンドいらない住民の会清水暁氏来県現地報告・集会後総会・石川県医連会館三階・沖縄のつどいは協賛団体と共催・どなたでも参加出来ます
- ・六月一日(日)…石川県母親大会・石川県女性センター
- ・六月四日(金)…第三二回日朝フィールドワーク「雨森芳州庵(長浜市)・人道の港敦賀ムゼウム(敦賀市)」
- ・六月六日(金)二時…核兵器廃絶署名・Mザ前
- ・六月八日(日)～一三日(金)…核兵器廃絶二〇一四年国民平和大行進(能登コース)
- ・六月一四日(土)…核兵器廃絶二〇一四年国民平和大行進(日本海コース)／俱利伽羅で県内へ入り二四日(火)…吉崎で福井県へ(行進予定は実行委員会発表で確認を)
- ・六月一四日(土)一七時～一九時…一五年戦争と日本の医学医療研究会「北陸支部研究会」参加自由・近江町交流プラザ四階
- ・六月一五日(日)一三時半…「第五回核兵器廃絶国際デー」映画「〜放射線を浴びた〜年後」上映と第五福竜丸展示館学芸員・市田真理さん講演会・石川県女性センターホール・主催核戦争を防止する石川医師の会
- ・六月二九日(日)…九条の会北陸三県交流会・高岡市
- ・七月二日(土)一四時～一六時三〇分…平和・民主主義・革新の日本をめざす石川の会総会と記念講演(乾友行全国革新懇事務室長)・金沢市・ITビジュネスプラザ四階研修室
- ・八月二日(土)～三日(日)…日本母親大会「神奈川
- ・八月一七日(日)～一八日(月)…日朝協会石川県支部「夏期学習会」・キゴ山学習館
- ・一〇月二一日(土)～二二日(日)…世界遺産「熊野古道」伊勢路を歩く・主催全国スポーツ祭典「新体連いしかわウォーキングクラブ

◎編集部注…祝日は休日(国民の休日)と表記します。

故清水正明医師の広島被爆絵画シリーズ

⑧「証人」

一九四五年八月六日
 一発の原爆で約二十万人が死んだ。
 焼け焦げ、吹きとばされ、下敷きになり
 そしていつまでも残る放射能のために
 今も尚ケロイドを持ち 原爆症に苦しみ
 精神的、社会的に悩みつつ、生きる約
 三十七万人のヒバクシャが居る。
 ヒバクシャは非人道的兵器である原爆
 の「生き証人」として、又 核兵器廃絶
 以外に人類の生きのびる道がないこと
 の「証人」として生きつづける。



輪島市教育委員会所蔵

絵手紙コーナー

安部政権の集団的自衛権
 行使容認反対

金沢医療生協絵手紙班 竹味恭子



◆トピックス◆

非核石川の会ホームページを

ただ今開設準備中

非核石川の会ではホームページ（以下、HP）の開設をめざして、ただ今準備中です。

- HPの開設目的は、①団体の活動目標を達成する情報手段の一つであり、認知度アップにつながる、②非核・平和に関する情報収集のモチベーションアップ、③活動の保存場所となり、会員増加に役立つ、④会報「非核・いしかわ」のバックナンバーを公開するためです。

HPのトップページは次のような構成であり、四

月下旬に開設予定です。ご期待ください。

●メインメニュー

- 「非核石川の会とは」設立趣意書、運営要綱
- 「会の活動紹介」年次総会、講演会等の案内
- 「メッセージ」会の見解・提言、年頭挨拶
- 「県内自治体情報」わが町の非核平和施策
- 「非核・平和イベント」講演会、原爆展等の案内
- 「リンク集」非核・平和関係団体HP

●サイドメニュー

- 「会報『非核・いしかわ』」バックナンバー
- 「被爆絵画シリーズ」会報連載より
- 「絵手紙コーナー」会報連載より
- 「出版物の紹介」全国の会・石川の会出版物
- 「入会・賛同募金コーナー」

《編集室より》

◎安倍政権の日本経済再生は自動車産業と原発と戦闘機・軍艦など兵器産業で考えているのだろうか。原発と軍需産業は業界の幹部を従え安倍総理自らのトップセールスで売り込んでいる産業である。その姿は人の生命を弄ぶセールスである。

新エネルギー基本計画が閣議決定された。原発事故被災者と安全を求める国民感情に逆らい原発の再稼働と輸出を基本に立案されたとも言える。日本は「風、太陽、水力、潮力、地熱」などの自然エネルギーに恵まれており開発技術もある。これは「地産・地消」産業であり地域経済効果に大きな役割を与えられると思う。

危険立地交付金から自然エネルギーによる地域経済への転換は地域を豊かにし健康的である。（平）